

2023年6月30日

学生の皆さん

## 授業における ChatGPT 等の生成 AI の利用について

教務部長

### 1 はじめに

人工知能技術の発展により、ChatGPT に代表される生成 AI（以下、「生成 AI」という）が、みなさんの身近なものになりつつあります。生成 AI は自然な会話ができること、文章の要約や作成ができること、解答の精度が高いことなどで社会的に注目されています。

生成 AI に限らず、技術の発展とともにさまざまな製品が生み出され、手に届くことになります。こういったときに大切なことは、まず**興味をもって知ろうとすること**です。

生成 AI については、多くの企業等でも業務への導入が進みつつあるため、その有用性を知っておくことは、社会に出るに当たって必要不可欠なものとなるはずです。**みなさんも、生成 AI を実際に使うことにより新しい技術に対する理解を深め、適切に活用できるようになってください。**

以下では、効果的な活用事例を紹介しますが、一方で生成 AI は日々進化している発展途上の技術でもあります。利用にあたって注意が必要なこともありますので、現在における授業での生成 AI に対する方針を紹介します。

### 2 授業における効果的な活用事例

生成 AI は蓄積されている膨大なデータから学習したパターンにしたがって、質問に対する回答を返しています。そのため、**単純な質問への回答や文書のたたき台の作成、文章の要約などを得意**としています。また、提案を求めるような質問に対しては、たくさんのアイデアを出してくれることでしょう。**学生同士でディスカッションをする際に、生成 AI からもアイデアをもらい議論を発展させる**ことができるかもしれません。また、**自分の作成した文書を生成 AI にチェックしてもら**うことで、自分の文書のどこがまずかったのかを学べば、文章力を鍛えることにも繋がるでしょう。

### 3 授業での利用にあたっての注意事項

以上のように、適切に利用すれば効果的なツールではありますが、前述のとおり発展途上の技術であることから、生成 AI は万能なものではありません。

たとえば、インターネット上にあふれているデータには根拠の乏しいもの、古いもの、悪質な偽情報なども含まれますが、それらも含めた情報から回答を示すため、**生成 AI が回答する内容が必ずしも正しいものであるとは限りません。**

また、生成 AI が回答した内容をそのままレポート等として提出することは、**剽窃や著作**

**権侵害といった不正行為**につながる恐れがありますし、なによりみなさんがレポートを書くことで高めることができるはずの力（論理的思考力や創造性など）を身につけることができません。

また、生成 AI はユーザーが入力した情報からも学習するといわれていますので、**個人的な情報や機密情報**などを入力することによって**大切な情報が流出**してしまうリスクがあります。

#### 4 おわりに

政府は生成 AI の利用に関するガイドラインを、夏前を目途に公表予定としています。そのため、この方針も、今後、変更される可能性があります。技術の急速な発展により人々の認識や法整備が追いつかない状況は今後も続くことが予想されます。このような状況だからこそ、自ら考え行動する力と倫理観が一人ひとりに求められています。生成 AI の適切な利用がこうした能力や態度を身につけることに繋がることを期待します。

以上